

一関工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	電気法規・電気施設管理	
科目基礎情報							
科目番号	0073			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	電気情報工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	1		
教科書/教材	電気法規と電気施設管理（令和2年度版）竹野正二著 東京電機大学出版局 2,970円						
担当教員	明石 尚之						
到達目標							
現代社会において電気設備が具備すべき安全性と経済性について 学び、関連する諸法規が定める技術的根拠の理解を通じて、電気技術者として設備の安全な運用に必要な法的手続きや義務について理解する。 【教育目標】 D							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
①現代社会において電気設備が具備すべき安全性と経済性について理解する。	現代社会において電気設備が具備すべき安全性と経済性について 理解できる。		現代社会において電気設備が具備すべき安全性と経済性について 理解できる。		現代社会において電気設備が具備すべき安全性と経済性について 理解できない。		
②関連する諸法規が定める技術的根拠について理解する。	関連する諸法規が定める技術的根拠について理解できる。		関連する諸法規が定める技術的根拠について理解できる。		関連する諸法規が定める技術的根拠について理解できない。		
③電気技術者として設備の安全な運用に必要な法的手続きや義務について理解する。	電気技術者として設備の安全な運用に必要な法的手続きや義務について理解できる。		電気技術者として設備の安全な運用に必要な法的手続きや義務について理解できる。		電気技術者として設備の安全な運用に必要な法的手続きや義務について理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本講義は現代社会において電気設備が具備すべき安全性と経済性について 学び、関連する諸法規が定める技術的根拠の理解を通じて、電気技術者として設備の安全な運用に必要な法的手続きや義務について理解する。						
授業の進め方・方法	「授業項目」に対応する教科書の内容を事前に読んでおくこと。また、ノートの前回の授業部分を復習しておくこと。						
注意点	試験結果（100%）で評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。 自学自習レポートの未提出が4分の1以上の場合は低点とする。総合成績60点以上を単位修得とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	電気事業法とその他の関係法規		電気事業法の目的、関係法規を理解できる。		
		2週	電気設備の技術基準（1）		電気設備に関する技術基準を理解できる		
		3週	電気設備の技術基準（2）		電気設備に関する技術基準を理解できる		
		4週	電気設備の技術基準（3）		電気設備に関する技術基準を理解できる		
		5週	電気設備の技術基準（4）		電気の効率的輸送、発電所の運用を理解できる		
		6週	電気施設管理（1）		電気の効率的輸送、発電所の運用を理解できる		
		7週	電気施設管理（2）		電気の効率的輸送、発電所の運用を理解できる		
		8週	中間試験（0.5週）				
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0